



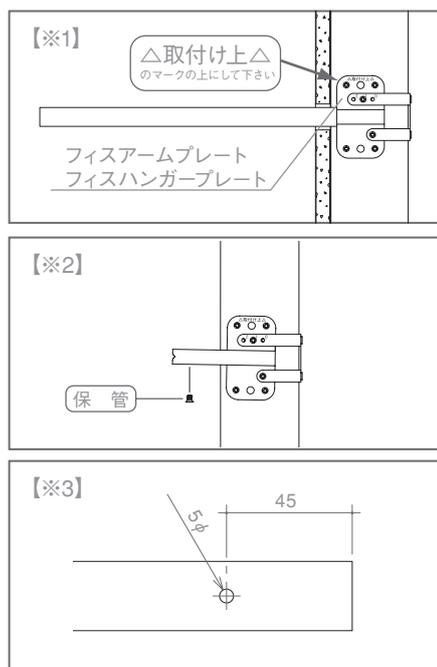
フィスサーレ
fissare® Fixed System



彼の姿は脚光を浴びる事はない。
ただ彼はその手立ての一部にしかすぎない。
その手立ては長年VMDに深く関わっている確立された、ひとつの技法。
最初に始めたのは誰ですか。
その人に彼を紹介すればなんと声を掛けてもらえるのだろうか。
決して脚光を浴びなくてもその人に喜んでもらいたい。
fissare。いつの日か彼はその手立ての代名詞になる。



注意事項



■設計・施工注意事項

<共通事項>

- ・フィスアームプレートとフィスハンガープレートの基本は右側取付けとなっておりますので、マークを上にして取付けて下さい【※1】
- ・本体プレートの左右のレベルが合わないと、取付けされる木棚やパイプが取付け出来ない場合がありますので、本体プレート取付け時は左右のレベルに注意して下さい。
- ・必ず当社指定の下地材をご使用下さい。木工下地などを使用すると著しく耐荷重が低下する恐れがありますので使用しないで下さい。

<フィスアームプレート（木棚用）について>

- ・本体プレートにセットされてある皿ビスを取り外してからアームを取付けますので、その際ビスの紛失にご注意下さい。【※2】
- ・本体プレートのみのご使用はお控え下さい、

<フィスハンガープレート（ハンガーパイプ用）について>

- ・ハンガープレートの単品販売となっておりますので、取付けされる当社指定サイズのスUSパイプはお客様でご用意して下さい。
- ・ご用意されたパイプの内径（内バリやビード）により、取付けできない可能性がありますのでご使用前には必ずハンガープレートとの勘合をお確かめの上ご使用下さい。
- ・ご用意されたパイプの取付け穴の位置（45mm位置に5φ穴）がずれて加工されますと固定用のレンチが入らない恐れがございますので、ハンガープレートとの穴位置が揃っているかご確認下さい。【※3】

<フィスハンガーホイールについて>

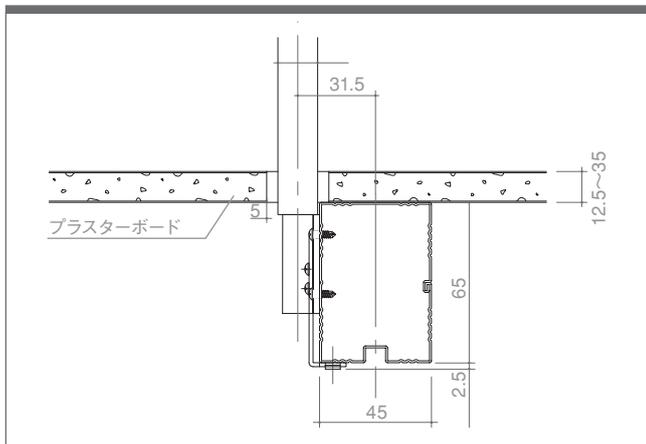
- ・ご用意されたパイプの外バリにより取付けできない可能性がありますので、必ずパイプの外表面取り加工を行って下さい。

■使用上の注意事項

<共通事項>

- ・「safety loading」以上の荷重を掛けないで下さい。

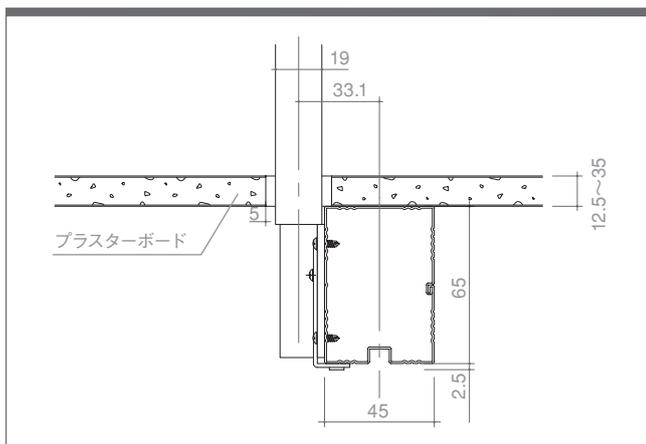
fissare. アームプレート納まり図



FI-AP 壁面の納まり図

スタッド中心～16角アーム中心軸寸法 31.5mm（下穴：25φ）

化粧壁面对応寸法 0～22.5mm（壁面厚12.5～35mm）



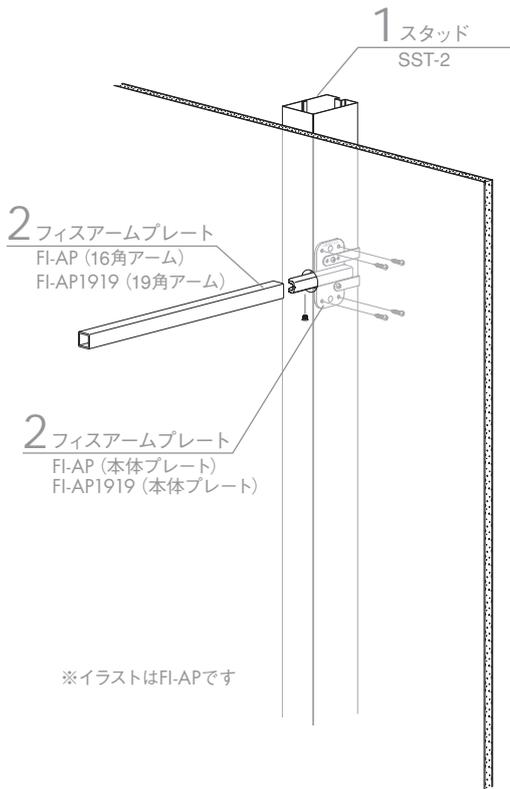
FI-AP1919 壁面の納まり図

スタッド中心～19角アーム中心軸寸法 33.2mm（下穴：28φ）

化粧壁面对応寸法 0～22.5mm（壁面厚12.5～35mm）

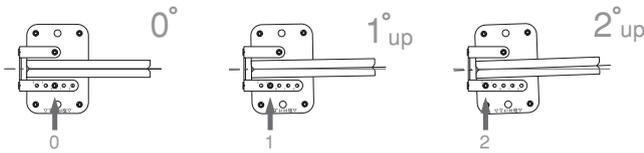
fissare® アームプレート取扱説明書

手順

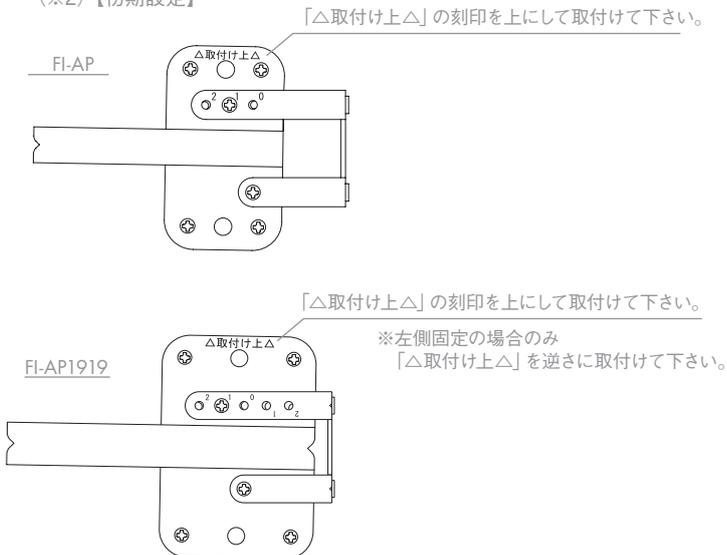


2

(※1) 【19角の左側付け】



(※2) 【初期設定】



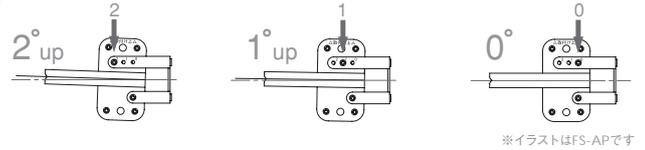
1

スタッド

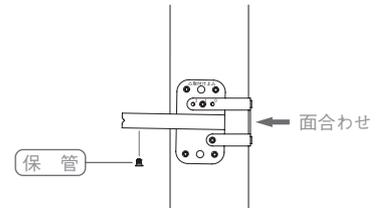
- 下地材SST-2 (スタッド) を立てます。

2

フィスアームプレート

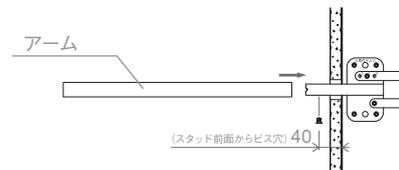


- 本体プレートに付いているL字金具の上部に取付けているビスを一度外し、任意角度の位置に合わせて再びビスを取付けて下さい。
※初期設定は1°UPになっています。
- FI-AP1919のみ左側への取付けが出来ます。左側に取付ける場合は上下を逆にし(※1)の図のようにL字金具のビス位置を左側の数字の刻印に合わせて取付けて下さい。
- 本体プレートのL字金具の面が、SST-2の面と合うように取付けて下さい。(SST-2ジョイント面不可)
△プレートには上下があるのでご注意ください。(※2)
- 本体プレートの先端のクボミを目印として左右のレベルが出ているか確かめて下さい。
- 本体プレートの取付け位置が決まったらMU-NT (タッピング) 止めをして下さい。
- 本体プレートの先端下部に取付けている皿ビスを取り外して、必ず保管しておいて下さい。



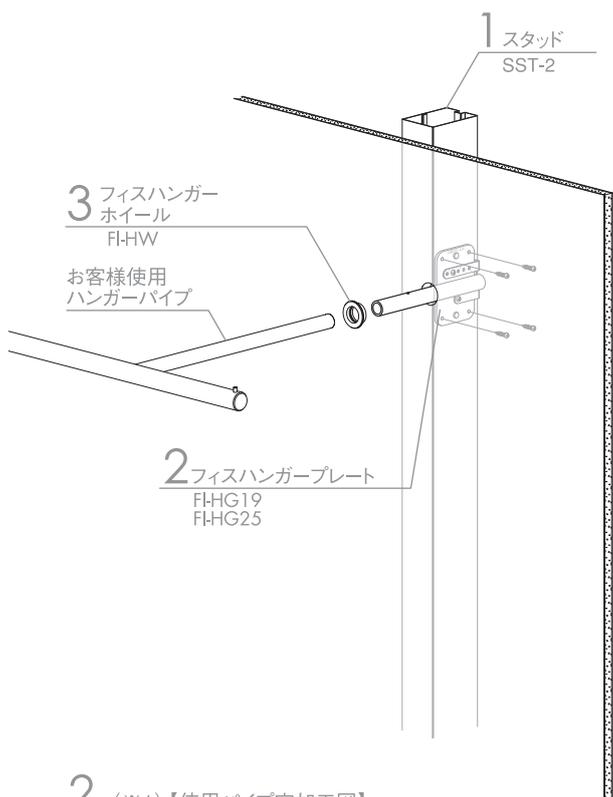
- 下穴をあけたプラスターボードを取付けて下さい。
下穴の大きさ FI-AP:25φ FI-AP1919:28φ

- ボード穴から出ている本体プレートの先端にアームを奥まで差込んで下さい。
- アームの根元下部に保管しておいたビスを取付けて本体と固定して下さい。

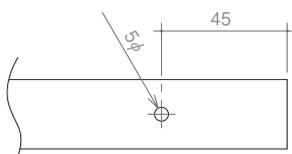


- 最後にボード穴をパテ埋め等で仕上げて下さい。

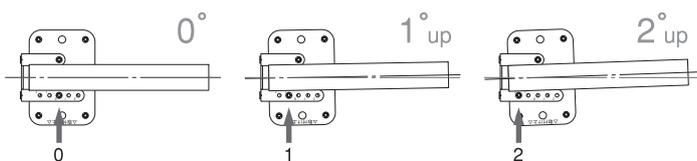
手順



2 (※1) 【使用パイプ穴加工図】

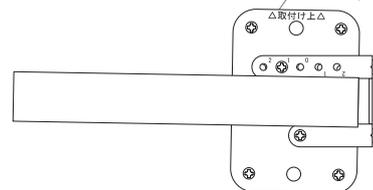


(※2) 【左側付けの場合】

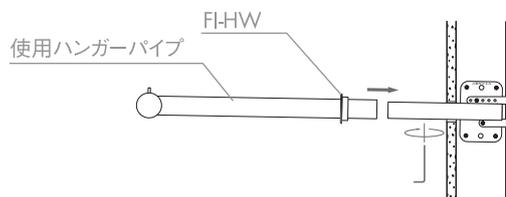


(※3) 【初期設定】

右側取り付け時は「△取付け上△」の刻印を上にして取付けて下さい。
左側取り付け時は「△取付け上△」の刻印を下にして取付けて下さい。



3 (※4) 【取付け】



1

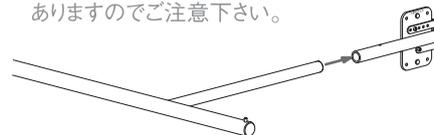
スタッド

- 下地材SST-2(スタッド)を立てます。

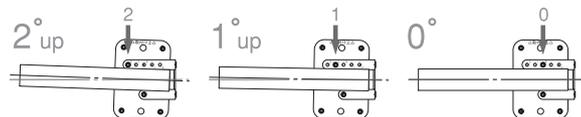
2

フィスハンガープレート

- 使用されるハンガーパイプ (SUS 19φ t=1.5又はSUS 25φ t=1.5) の下面に挿入部側から45mmの位置に5φの穴を開け、ハンガープレートが挿入できるか確認して下さい。(※1)
- ※使用されるハンガーパイプの内径のバラつき(ビート高など)によりうまく挿入できない可能性がありますのでご注意ください。



- フィスハンガープレートに付いているL字金具の上部に取り付けているビスを一度外し、任意角度の位置に合わせて再びビスを取付けて下さい。
- ※初期設定は右側取付けの1°UPになっています。

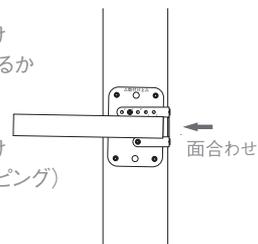


- 左側に取付ける場合は上下を逆にし(※2)の図のようにL字金具のビス位置を左側の数字の刻印に合わせて取付けて下さい。又、ハンガーパイプ固定用のホーロービスは上下逆に取付けて下さい。

- フィスハンガープレートのL字金具の面が、SST-2の面と合うように取付けて下さい。(SST-2ジョイント面不可)
- △ プレートには上下があるのでご注意ください。(※3)

- フィスハンガープレートの取付け位置が左右のレベルが出ているか確かめて下さい。

- フィスハンガープレートの取付け位置が決まったらMU-NT(タッピング)止めをして下さい。



- 下穴をあけたプラスターボードを取付けて下さい。
下穴の大きさ FI-HG19: 28φ FI-HG25: 34φ
- ※FI-HW(ホイール)を使用しない場合は使用するハンガーパイプより大きな穴をあけて下さい。

3

フィスハンガープレート

- 使用されるハンガーパイプの根元(面取り加工必要)からFI-HWを取付けてボード穴から出ているフィスハンガープレートのインロー部の奥まで差込んで下さい。
- △ 奥まで差込まないと固定出来ません。
- ハンガーパイプの5φ穴からレンチを差込みホーロービスを締付け固定して下さい。(※4)

- 最後にFI-HWでボード穴をふさいで下さい。
- ※FI-HWを使用しない場合はパテ埋め等で仕上げて下さい。